

第2款 環境ビジネスの育成

【現状と課題】

環境省の調査によれば、我が国の環境産業の市場規模は、平成12年の41兆円から平成27年には104兆円に達しています。

本県には、臨海部を中心に鉄鋼、化学などの基礎素材型産業や、自動車を中心とする裾野の広い加工組立型産業の集積があり、これらが有する技術を生かしたエコビジネス育成のポテンシャルは高いと考えられます。

特に市場の拡大が見込まれる省エネルギー、再生可能エネルギーなどの分野における研究開発の促進が必要であり、それらを支える人材の育成が重要になっています。

また、リサイクル関連産業の育成は、事業者による廃棄物抑制の取組につながるため、リサイクル関連の研究開発やリサイクル製品の品質向上・販路拡大を推進する必要があります。

【環境の状態等を測る指標・環境施策の成果を示す指標】

担当課	指標項目（内容）	単位	基準年度値 (H26)	現状値 (H29)	目標値 (目標年度)	目安 ※1	指標の 達成率	進捗 状況
循環型 社会課	技術開発補助金採択件数	件	15	14	95※2 (H32) (19件/年)	17	82.4%	(※注)
循環型 社会課	びんごエコ団地分譲済み 区画数	区画	4/6	5/6	6/6	5/6	100%	目標どお り達成

※1 目安は、目標値を現状で達成すべき水準に按分した数値

※2 平成28年度～平成32年度の累計（19件／単年度）

(※注)「技術開発補助金採択件数」については、事業規模が大きいものが多かったため、採択件数が少なくなった。事業効果を見ながらの採択となるため、進捗状況の評価は目標年度に実施する。

1 環境・エネルギー関連産業の育成

【取組状況】

(1) 地域資源・特性に応じた支援

ア 環境浄化産業クラスター形成事業 [海外ビジネス課]

環境問題が深刻化する中国・インドネシア・ベトナム等のアジア地域での新事業展開などを促進するため、環境浄化産業クラスター形成に取り組んでいます。

【平成29年度実績・平成30年度内容】商談会等ビジネスマッチングの実施、企業の現地実証試験や現地拠点設立等への支援、専門家によるハンズオン支援等。

<環境浄化分野の売上高>

指標項目		H25	H26	H27	H28	H29
環境浄化分野の 売上高（億円）	実績	1,098	1,112	1,162	1,236	1,365
	目標	1,050	1,103	1,147	1,195	1,256

イ 中国四川省との環境保護合作事業 [環境政策課]

県が友好提携を結んでいる四川省と平成3年度に交わした「環境保護合作事業」に関する覚書に基づき、研修等を実施しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】研修員3名を受け入れ、1か月程度の研修を実施。また、四川省での環境関連分野に係る商談会の実施などにより、現地での技術協力を実施。

※ 関連事業：廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費助成事業(P30)、びんごエコタウン推進事業(P98)、循環型社会形成推進機能強化事業(P98)、廃棄物排出抑制・リサイクル関連研究開発費助成事業(P99)、リサイクル製品使用促進事業(P99)、県立広島大学における研究(P106)

(2) 産業分野の人材の育成

ア 研究開発などに携わる人材の育成 [研究開発課]

【平成29年度実績】広島県畜産協会が主催する堆肥共励会の審査員として、堆肥に関する評価及び指導を実施。また、中国四川省農業連携協定に基づく農林水産局職員の派遣団の一員として、農林環境改善に関する専門家として研究員が参加。

【平成30年度内容】平成29年度と同様、堆肥共励会の審査員として、堆肥に関する評価及び指導を実施。

2 リサイクル産業の集積・育成

(1) リサイクル産業の集積

ア びんごエコタウン⁵推進事業 [循環型社会課]

福山市箕沖地区に整備した県内初のリサイクル企業向け「びんごエコ団地」の分譲を行い、循環型社会の拠点形成及びリサイクル産業の振興を図っています。

分譲を促進するため、土地代金の一部助成等の企業立地支援措置を講じています(びんごエコ団地企業立地支援事業)。

【平成29年度実績】1区画について分譲を広報。

【平成30年度内容】1区画について分譲を広報。

※ 関連事業：福山リサイクル発電事業の推進(P32)

(2) リサイクル産業の育成

ア 循環型社会形成推進機能強化事業 [循環型社会課]

廃棄物処理分野での循環型社会形成への取組を強化・加速させるため、産業廃棄物処理業界と大学による体系的な研究開発等に取り組む産学連携の推進母体に対し、研究開発活動経費及び人材育成事業費を助成しています。

【平成29年度実績】研究事業14テーマに84,023千円、人材育成事業1テーマに843千円を支援。

【平成30年度内容】研究事業15テーマ、人材育成事業1テーマに支援。

5 びんごエコタウン(構想)：平成12年3月に備後22市町村を対象地域として、モデル的に循環型社会システムを形成するためのマスタープランとして策定。同年12月に当時の通商産業省と厚生省から中国地域では初めてのエコタウンプランとして承認された。

イ 廃棄物排出抑制・リサイクル関連研究開発費助成事業 [循環型社会課]

事業者の実施する廃棄物のリサイクル等に関する研究開発を支援し、その成果を事業化することにより、資源循環・廃棄物の削減を積極的に推進しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】平成29年度は実績なし。平成30年度から新たに設定したテーマ型研究については、最長で3年間の事業実施を認めるとともに、大企業も補助対象に追加して実施。

図表 5-2-1 助成条件

項目	内容
対象分野	廃棄物の排出抑制, 減量化, リサイクル
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に本社【又は排出事業所】を置く中小企業者【企業者】 ・構成員の1/2以上が県内に本社【又は排出事業所】を置く中小企業者【企業者】である2者以上の共同研究グループ ・県内に主たる事務所を置く組合等 ※【 】はテーマ型研究の対象者 ※テーマ型研究の対象廃棄物は、指定の廃棄物に限る。
対象経費	即効性が高いと見込まれる研究開発
補助率	2/3以内
補助額	10,000千円以上20,000千円以内/件

ウ リサイクル製品使用促進事業 [循環型社会課]

県内産リサイクル製品の使用促進を図るため、「生活環境保全条例」に基づき、要件・基準に適合した県内産リサイクル製品の登録を行っています。登録製品は県の事務・事業で率先使用するとともに、県ホームページ等で製品情報を積極的に提供しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】平成29年度末時点で468の登録を実施。

図表 5-2-2 平成29年度 県の事業・事務における登録リサイクル製品の使用実績

種別	品目名	使用量	単位
第一種	改良土	31,878	m ³
	再生土	921	m ³
	再生鋼土	135	m ³
	鉄鋼スラグ(製鋼スラグ)	12,717	m ³
	鉄鋼スラグ(高炉スラグ細骨材)	492	m ³
	鉄鋼スラグ(高炉水砕スラグ)	60	m ³
	再生アスファルト安定処理混合物	375	t
	再生アスファルト安定処理混合物(最大粒径20mm突固め回数50回)	462	t
	再生粗粒度アスファルト混合物改質II型(最大粒径20mm突固め回数75回)	771	t
	インターロッキングブロック(普通)表面ショット加工タイプ	319	m ²
	堆肥原材料	36	m ³
	木材チップ	1	m ³
第二種	再生碎石	64,797	m ³
	再生粒度調整碎石	14,628	m ³
	再生砂	1,505	m ³
	法面緑化用吹付材	419	kℓ
	バーク堆肥	1,300	kg
	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ(HMS-25)	490	m ³
	再生加熱アスファルト混合物	57,106	t
	土木製品	171	m

資料：県循環型社会課